

第 15 回上智大学全国高校生英語弁論大会

ジョン・ニッセル杯のご案内

拝啓 春暖の候 貴職におかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
平素より本学の教育研究活動にご理解、ご支援を賜わり厚く御礼申し上げます。

本学では、英語で発表することを通じて、英語力の向上を図るとともに、高校生たちに将来世界を舞台に活躍する人材として成長するきっかけを掴んでもらいたいという思いから、2011 年度から高校生による英語弁論大会「ジョン・ニッセル杯」を開催しております。

第 15 回大会は、2025 年 11 月 22 日（土）に開催いたしたく、ここにご案内を申し上げます。

おかげさまで過去に開催された大会では全国から多数の応募があり、事前の選考を通過した約 20 名によって行われる本選は、高校生による英語弁論大会としては極めて高水準の内容となっております。ぜひとも貴校の生徒様にご参加いただきたく、お手数ながら、英語ご担当の先生方、英語関連課外活動等の顧問の先生方よりご案内いただけますようお願いいたします。

また本学では、本大会の上位入賞者に対し、在学中 4 年間の授業料、もしくはその一部を減免するジョン・ニッセル杯奨学金を設置しております。大会及び奨学金の詳細につきましては、同封の募集要項をご覧ください。

末筆ではございますが、貴校の益々のご発展を心より祈念申し上げます。

敬 具

添付資料：

1. 第 15 回上智大学全国高校生英語弁論大会チラシ
2. 募集要項（上智大学言語教育研究センターHP からダウンロード可能です）

<問い合わせ先>

下記まで電子メールで、お問い合わせ下さい。

上智大学英語弁論大会係：nissel-cup@sophia.ac.jp

上智大学言語教育研究センターHP：

<http://www.sophia-cler.jp/hs-students/nissel-cup.html>



第15回 上智大学全国高校生英語弁論大会 ジョン・ニッセル杯

本選期日: 2025年11月22日(土) 12:45~

本選会場: 上智大学四谷キャンパス6号館101室

弁論のテーマ

The Future of Japanese Tradition

ジョン・ニッセル杯奨学金

本大会の上位6位までの入賞者が、将来上智大学に入学した場合、
修業年限(4年間※)の授業料を順位に応じて減額します。※ただし継続審査あり

1位: 授業料相当額 2・3位: 授業料半額相当額 4~6位: 授業料3分の1相当額

本選までの予定

1次審査応募期間: 2025年8月1日(金)~8月21日(木)(予定) 1次審査発表: 2025年10月初旬

本選審査員

審査委員長 藤田保 上智大学言語教育研究センター長 他

募集要項入手先

下記URLからダウンロードしてください。

過去の大会の様子やジョン・ニッセル杯の紹介映像もご覧いただけます。

<http://www.sophia-cler.jp/hs-students/nissel-cup.html>



お問い合わせ先

下記まで電子メールでお問い合わせください。

上智大学全国高校生英語弁論大会係 nissel-cup@sophia.ac.jp



主 催: 上智大学言語教育研究センター、外国語学部英語学科

後 援: 文部科学省、公益財団法人日本英語検定協会、ETS Japan TOEFL日本事務局、
株式会社アルク、株式会社小学館、一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会、
株式会社ソフィアキャンパスサポート

第 15 回上智大学全国高校生英語弁論大会(ジョン・ニッセル杯)

募集要項

はじめに

上智大学では、建学以来、数多くの外国人教師の指導のもと、外国語教育を重視し、国際舞台で活躍するにたる語学力を身に付けた多くの人材を世に送り出してきました。そうした経験の中で、語学教育の大切さとその結果得られる語学力が与えてくれるものの大きさと尊さを我々は常に学び、実感してきました。特に、コロナ禍を経て、「言葉の持つ力」をあらためて感じた方も多いのではないのでしょうか。

ジョン・ニッセル杯はそのような思いのもと、高校生が英語を用いて自分の言葉で意見を発表する機会を設けることを目的に、2011 年度より継続して実施しています。今迄の大会には全国から多数の応募があり、競争率が 10 倍を超える予選を通過した約 20 名によって行われる本選は、高校生による英語弁論大会としては極めて高水準の内容となっています。

また、上位入賞者が上智大学に入学した場合に授業料を減免する「ジョン・ニッセル杯奨学金」を設立し、第 10 回大会入賞者より修業年限(4 年間)の支給へと拡充しました。

大会の詳細および応募方法は下記のとおりです。多くの皆さんの応募をお待ちしております。

I. 大会名称：第 15 回上智大学全国高校生英語弁論大会(ジョン・ニッセル杯)

II. 趣旨：高校生が自分の考えを公の場で英語を使って発表する機会を与えることを通して英語能力向上の一助となることを目指す。上智大学で長年にわたって教鞭をとった故ジョン・ニッセル師にちなんで「ジョン・ニッセル杯」と名付ける。

III. 主催：上智大学言語教育研究センター、外国語学部英語学科

IV. 本選開催期日：2025 年 11 月 22 日(土) 12:45 から

本選までの予定

①1次審査応募(フォーム入力)期間：2025 年 8 月 1 日(金)ー21 日(木)(予定)

②1次審査結果発表：2025 年 10 月初旬(予定)

※可否に関わらず、応募者全員の自宅宛に郵送で通知。在籍する高校への通知は行わない。

V. 本選開催場所：上智大学四谷キャンパス 6 号館 101 室

VI. ジョン・ニッセル杯奨学金：

本大会の上位 6 位までの入賞者が将来上智大学に入学した場合、本人の申請に基づき、修業年限(4 年間※)の授業料を順位に応じて減額する。1 位は授業料相当額、2～3 位は授業料半額相当額、4～6 位は授業料 3 分の 1 相当額が減額される。手続き方法については、別途該当者に書面にて案内する。※ただし、学年ごとに継続審査があります。

VII. 後援: 文部科学省、公益財団法人日本英語検定協会、ETS Japan TOEFL 日本事務局、株式会社アルク、株式会社小学館、一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会、株式会社ソフィアキャンパスサポート

VIII. 実施内容および方法:

1. **内容:** 全国の高校生を対象とした英語による弁論大会。
2. **対象:** 原則として日本国内の高等学校(一条校)、インターナショナルスクールおよび文部科学省の在外教育施設の認定を受けた海外の日本人学校に通う高校生で、本選に出場できる者。海外体験の有無は問わない。
3. **弁論の長さ:** 4分以上5分以内
4. **弁論のテーマ: The Future of Japanese Tradition**
本人が執筆したもので、社会に目を向けつつ、できるだけ実体験に基づいた独自の内容が望ましい。
※なお、内容がテーマに沿っているかは、応募者各自が判断すること。
5. **審査基準:** 英語の文法、プレゼンテーション技術の他、主題の選択、文章構成、スピーチとしての説得力、内容の独自性など、内容面を重視して審査する。
6. **1次審査:** 原稿と録音による。審査員は本学言語教育研究センター及び英語学科教員。
7. **本選:** スピーチの後に審査員が簡単な質疑応答を行う。
8. **本選出場者予定数:** 20 名程度
9. **レセプション:** 学内において、当日大会終了後に行う。

IX. 表彰:

- ① 本選参加者全員に本選参加証を発行する。
- ② 後援団体、企業からの賞品を贈呈する(詳細未定)。
- ③ 1-6 位の入賞者の他に、英検賞を贈呈する。
- ④ 入賞者には以下のものを贈呈する。

優勝者	カップ(持ち回り、次年度レプリカカップの贈呈あり) 表彰状
2位・3位	表彰楯 表彰状
4・5・6位	表彰状

X. 応募方法:

- (1) 応募フォームへの情報入力(参加登録)

応募期間(2025 年 8 月 1 日(金)から 8 月 21 日(木)を予定)の間に、オンライン上の所定のフォームに、以下の項目をもれなく入力する。

フォームの詳細は応募期間直前に公開する。7 月下旬にジョン・ニッセル杯のウェブサイトにて確認すること。

入力項目

項目番号	内容
1	氏名(姓・名・ミドルネーム(有の場合のみ)の漢字・ふりがな・アルファベット表記)
2	性別
3	生年月日 (半角数字)
4	在籍高校名(日本語名称・ふりがな・英語正式名称)
5	学年
6	高校住所(郵便番号を含む)
7	高校電話番号
8	応募者自宅住所
9	応募者電話番号
10	応募者メールアドレス
11	原稿タイトル(英文)
12	原稿分量 words(語数)
13	録音時間(分/秒)
14	海外就学経験有無及び期間・国名等詳細

! 入力した情報(特に、住所・電話番号・e-mail アドレス)に誤りがあると、事務局からの連絡ができないため、送信前に誤りがないことを十分に確認すること。

(2) 弁論原稿と音声データの提出

フォームの入力を完了後、以下の提出物を、オンライン上のフォルダに保存することにより提出する。フォルダの詳細と提出方法は、(1)のフォームへの入力完了後に、応募時に登録した e-mail アドレス宛に、応募者に個別に通知する。提出期限は通知の翌日とするため、すべての提出物を完成して直ちに提出できる状態にしてから応募フォームへ入力すること。

提出物

(1) 弁論原稿データ(マイクロソフト Word ファイル)

①分量: 4 分以上 5 分以内で話すことができる長さ。

(タイトルは時間に入れない。)

②内容: 今年度のテーマ **The Future of Japanese Tradition** に沿ったもので、社会に目を向けつつ、できるだけ実体験に基づいた独自の内容が望ましい。

③体裁: a.A4 用紙(縦置き)に横書きで、マイクロソフト Word ファイルで作成する。

フォントサイズは 12 とし、1 頁の行数は 40 行(タイトル行を含まず)とすること。

Pdf 化せず、ワードファイルのまま提出すること。

- b.必ずタイトルを付けること(タイトルは弁論テーマと同一にしないこと)。
- c.原稿の最初に上記のタイトルを明記する。(氏名、学校名、学年は記載しないこと。)
- d.ファイル名は原稿のタイトルとする。ファイル名に氏名、学校名などは入れないこと。

例: Will Japanese tradition survive in the 22nd century.docx

(2) 録音データ

- ① 参加者本人が吹き込んだもの。
- ② 音声ファイルを、MP3、M4a、Wav 形のいずれかで作成する。

ファイル名は(2)の Word ファイルのタイトルと同一とすること。ファイル名に氏名、学校名などは入れないこと。

- * 録音の際、氏名→タイトル→本文の順で読み上げること。学校名は含めない。
- * 過去の大会では、録音不良・保存形式の誤りにより失格になった応募者が複数いたので、録音後、良好な状態で再生できるかどうか、パソコン上で必ず確認すること。
- * 録音等に関する技術的な質問は受け付けない。

 提出後は弁論タイトルや内容の変更は受け付けないので、十分な推敲・確認の後提出すること。
応募書類に不備や不足があった場合や提出期限に遅れた場合は失格となります。

4. 問い合わせ先

下記まで電子メールでお問い合わせ下さい(メールによる応募書類の受付はできません)。

上智大学全国高校生英語弁論大会係 <nissel-cup@sophia.ac.jp>

ジョン・ニッセル杯 HP <http://www.sophia-cler.jp/hs-students/nissel-cup.html>

- * ジョン・ニッセル杯に関する「よくある質問」は、HP内に掲載しています。
- * ジョン・ニッセル杯の紹介映像や過去の大会の様子は、上記「ジョン・ニッセル杯HP」よりご覧いただけます。

以 上

上智大学全国高校生英語弁論大会
ジョン・ニッセル杯
よくある質問 (Q&A)

応募について

- Q :** 海外の日本人学校に通う生徒は、応募資格はありますか。
- A :** 文部科学省の在外教育施設の認定を受けた海外の高等学校の生徒であれば、応募資格があります。ただし帰国して本選に出場できることが条件です。
- Q :** 日本国内のインターナショナルスクールに通う生徒は、応募資格はありますか。また、募集要項の英語版はありますか。
- A :** 日本国内のインターナショナルスクールに通う生徒も応募可能です。英語版の募集要項はありません。
(所在地が日本国外で、文部科学省の認定を受けていないインターナショナルスクールの生徒は応募することができません。)
- Q :** インターナショナルスクールに通っており、6 月で middle school が終了し、9 月から high school に入ります。参加資格はありますか。
- A :** 参加資格はあります。
- Q :** 日本国籍でないといけないのでしょうか。
- A :** 出場者本人及び両親の国籍は問いません。
- Q :** e-mail での応募は可能ですか。
- A :** 募集要項上の提出方法に従ってご応募ください。E-mail での応募は受付けていません。
- Q :** 応募者が一人または複数いる場合、生徒本人から必要な提出物を提出させてもよろしいでしょうか。それとも、学校の担当者が学校としてまとめて送る必要がありますか。
- A :** 応募手続は個人単位で(一度に一名分)入力する方式ですので、基本的には、応募者が自分で行うことを想定しています。学校で取りまとめ入力いただくことを禁止はいたしません、入力是一名分ずつ行っていただく必要があります。
入力された情報に誤りがある場合、事務局からご本人への連絡ができなくなるため、ご本人以外が入力される場合は、正確性に特にご注意ください。
- Q :** 録音の際、冒頭にタイトル、学校名、氏名を入れるべきですか。
- A :** 氏名→タイトル→本文の順で録音し、学校名は録音しないで下さい。
- Q :** スピーチの録音及び本番は原稿そのものを読まなければいけないのでしょうか。それとも原稿に基づいたスピーチで、原稿と少し言い方が変わっても

よいのでしょうか。

A: スピーチの録音は、原稿にできるだけ忠実に行っていただきたいと思います。少しの違いも許さない、という訳ではありませんが、ほぼ同じ、という程度で録音及び発表して下さい。なお、本選では、予選審査の原稿とスピーチ内容が大きく異なる場合は、失格となります。

Q: 募集要項で定められたテーマに沿った内容になっているかどうか不安です。応募前に確認していただくことは可能ですか。

A: 原稿の内容が規定のテーマに合っているかどうかは、応募者各自が判断して下さい。

Q: 今年度開催される他の弁論大会で使用する原稿と同じ原稿で応募することは可能ですか。

A: 同一原稿で他大会に応募していても構いません。

Q: 一次審査結果は応募者全員に通知されますか。

A: 一次審査結果は合否に関わらず応募者全員の自宅宛に郵送にて通知します。在籍の高等学校への通知は行いません。

本選の審査について

Q: スピーチ後の質疑応答では、どのような質問がされますか。

また、質疑応答は採点されますか。

A: 審査員の一人がスピーチ内容について興味を持ったことや疑問に思ったことを質問します。質問は原則として一つだけです。質疑応答も採点の対象となります。

Q: スピーチの制限時間が、5分を超えてしまうと減点になりますか。

A: 募集要項にあるとおり、時間は4分以上5分以内とし、4分に満たない場合および5分を超過した場合は減点します。6分を超えると失格となります。

Q: スピーチのはじまりはどこからですか。挨拶した場合は制限時間に入りますか。

A: 原稿の本文からはじめてください。タイトルや自己紹介、挨拶は不要です。

Q: スピーチ本番は原稿そのものを読まなければいけないのでしょうか。それとも原稿に基づいたスピーチで、原稿と少し言い方が変わってもよいのでしょうか。

A: スピーチ本番は、原稿に出来るだけ忠実に行っていただきたいと思います。少しの違いも許さない、という訳ではありませんが、ほぼ同じ、という程度で発表して下さい。なお、本選では、予選審査の原稿とスピーチ内容が大きく異なる場合は、失格となります。

本選当日について

- Q： スピーチの際、手元に原稿を置くことは、許可されますか。
- A： 手元に原稿を置くことは許可します。ただし、発表のパフォーマンスも審査の対象となりますのでご注意ください。
- Q： スピーチの際、スマートフォンや時計等を手元に置き、自分で時間を計ることは認められますか。
- A： 時間を計る道具を壇上へ持参することは不可とします。従わない場合は失格となりますので、ご注意ください。
客席の最前列にタイムキーパーがおり、残り時間の目安を文字で示しますので、そちらを参照してください。
- Q： 本選に出場する際にかかる交通費や宿泊費は、自己負担ですか。
- A： 本選出場の際の旅費は全て自己負担です。
上智大学からの補助はありません。予約等も全てご自身で行ってください。
- Q： 大会当日、教員の引率は必須ですか。
- A： 教員の引率は、必須ではありません。
お越しくださった場合は、会場で参観いただけます。
- Q： スピーチの録画や写真撮影は、許可されていますか。
- A： ご本人のご家族や関係者によるご本人のスピーチの録画、撮影はフラッシュを使用しないということでしたら、問題ありません。ご本人以外の参加者のスピーチの録画、撮影はご遠慮下さい。
- Q： 参加者の関係者ではないのですが、本選を見学出来ますか。
- A： 本選は一般に公開しており、どなたでも自由に入場できます。但し未就学児の入場はご遠慮下さい。スピーチ中及び質疑応答中以外は、出入り自由です。

その他

- Q： ニッセル杯への応募や良い成績を残すことで上智大学を受験する際に有利になりますか。
- A： ニッセル杯への応募やニッセル杯での成績が上智大学で実施している各種入学試験の合否判定に影響を及ぼすことは一切ありません。
- Q： 過去の大会の様子を知りたいのですが。
- A： 第3回大会（2013）～第14回大会（2024）の映像を上智大学 Open Course Ware で公開しています。また、過去の上智大学公式サイト内には、過去の大会の入賞者一覧表を含む報告記事が掲載されています。

以上